

志賀原子力発電所 1号機 非常用ディーゼル発電機の試運転中における自動停止について

2024年1月17日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所は、1、2号機（定期検査により停止中）とも、外部電源や必要な監視設備、冷却設備および非常用電源等の機能を確保しており、原子炉施設の安全確保に問題は生じておりません。また、発電所に設置しているモニタリングポストの数値に変化はなく、外部への放射能の影響はありません。

志賀原子力発電所 1号機において、1月16日18時42分に発生した志賀町震度5弱（1号機原子炉建屋地下2階 震度2、24.5ガル）の地震後の保安確認措置^{※1}のため、本日16時58分に非常用ディーゼル発電機^{※2}（以下、非常用D/G）の一つである高圧炉心スプレイディーゼル発電機の試運転として、ディーゼル機関を起動し、発電機を所内電源系統に接続する操作をしていたところ、17時13分に自動停止しました。

原因については現在調査中です。

志賀原子力発電所 1号機は、現在、外部電源3回線（赤住線（66kV 1回線）および志賀原子力線（275kV 2回線））を確保しており、非常用D/G 3台のうち2台については、本日、同様の試運転を実施し、健全であることを確認しています。なお、本事象は、保安規定に定める運転上の制限の逸脱に該当いたしません。

本件につきましては、安全協定等に基づき、石川県および志賀町等関係自治体に連絡しています。

引き続き発電所設備全般の詳細な点検を継続し、発電所の安全確保に努めてまいります。今後、詳細な点検の過程で新たな不具合が確認された場合は、お知らせしてまいります。

※1 地震後の保安確認措置：

地震後に原子炉施設の健全性確認のために実施するパトロールや試運転

※2 非常用ディーゼル発電機：

発電所への外部電源喪失時に所内への電源を供給するためのディーゼル機関駆動の非常用発電機

